

令和5年度
埼玉県「性に関する指導」
課題解決支援事業 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和6年3月

埼玉県教育委員会

は じ め に

学校教育活動、そして子供たちの生活にも大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に、感染症法上の位置付けが5類に移行しました。各学校におかれましては、これまでの長期間にわたり、また、現在においても子供たちの健康観察の徹底や校内の環境衛生の維持・管理など、学校における感染拡大防止のため、様々な対策に取り組んでいただいておりますことに、改めて、心より感謝申し上げます。

近年、ますます加速する社会状況の変化により、こうした新たな感染症や、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する諸課題など、児童生徒等の心身に影響を与える様々な健康課題が生じています。このような健康課題の解決を図るためにも、学校における健康教育は重要な役割を担っています。

学校における「性に関する指導」は、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにすることを目的として、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達の段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて行われています。とりわけ、体育科、保健体育科の保健の授業で行われる「性に関する指導」は、健康教育を効果的に推進する上で大変重要です。

本報告書は、埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業における令和5年度の取組の概要や成果等についてまとめております。すべての学校において、掲載の指導実践例等を活用していただき、児童生徒の発達の段階を踏まえ、学校全体の共通理解の下、保護者の理解を得ることにも配慮しながら、集団指導と個別指導の連携を効果的に行うなど、「性に関する指導」の充実が図られることを期待します。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、「性に関する指導」課題解決検討委員の皆様をはじめ、実践発表、授業研究会等に御協力いただきました、各小中高等学校並びに関係教育委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後もお一層の御指導・御協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年3月

埼玉県教育局県立学校部参事兼保健体育課長

松中 直司

目 次

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨	1
2 事業内容	1
3 実施内容	1
4 事業の成果と課題	3
5 令和6年度の事業予定について	13

II 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会 14

III 埼玉県「性に関する指導」授業研究会 39

1 小学校部会	八潮市立八幡小学校	40
2 中学校部会	志木市立志木中学校	55
3 高等学校部会	県立北本高等学校	69

IV 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会 82

1 設置要綱	82
2 委員名簿	84

I 埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業について

1 事業の趣旨

発達段階に応じた効果的な性に関する指導を推進するために、学識経験者を含めた課題解決検討委員会を立ち上げ、効果的な指導法の研究・普及・実践を行うこと。

- ・課題解決検討委員を講師として、「知識を活用した保健学習－性に関する指導編・感染症編－」「保健教育参考資料 なるほど！保健の授業づくり－令和4年度発行－」を活用した指導者研修会及び授業研究会を実施する。
- ・発達段階に応じた性に関する指導について研究する。
- ・性に関する指導に携わる教員等を指導する指導者養成を兼ねる。

2 事業内容

- (1) 「性に関する指導」課題解決検討委員会
- (2) 「性に関する指導」指導者研修会
- (3) 「性に関する指導」授業研究会

3 実施内容

(1) 課題解決検討委員会について

- ア 第1回課題解決検討委員会 令和5年6月28日（水）知事公館中会議室
- ・日程確認、役割（校種別）分担について
 - ・「知識を活用した保健学習－性に関する指導編・感染症編－」「保健教育参考資料 なるほど！保健の授業づくり－令和4年度発行－」を活用した授業研究会について
 - ・「性に関する指導」指導者研修会について
- イ 第2回課題解決検討委員会 令和5年8月29日（火）埼玉県立文書館講座室
- ・授業研究会について（発達段階に応じた性に関する指導の実践研究）
- ウ 第3回課題解決検討委員会 各校種での授業研究会
- ・授業研究会の運営、指導助言（発達段階に応じた性に関する授業の実践研究）
- エ 第4回課題解決検討委員会 令和6年1月26日（金）知事公館大会議室
- ・事業実施報告及び研究のまとめ

(2) 「性に関する指導」指導者研修会

ア 趣旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達の段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

イ 開催日時 令和5年8月9日（水）午後1時20分から午後4時30分まで

ウ 開催方法 Zoomによるオンライン開催

エ 参加対象者

- ・公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（体育・保健体育担当教職員、養護教諭等）
- ・市町村教育委員会の指導主事

オ 内容

・行政説明

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

指導主事 坂上三四郎

・事例発表

小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」

(イ) 思春期の体の変化

小鹿野町立小鹿野小学校 養護教諭 阿部 真子

中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

所沢市立小手指中学校 養護教諭 三好明日美

高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」

(ア) 生涯の各段階における健康

県立和光国際高等学校 養護教諭 斉藤美智子

・講演

「学習指導要領に基づく性に関する指導の考え方と進め方」

講師 筑波大学名誉教授 野津 有司 氏

(3) 「性に関する指導」授業研究会

効果的な指導方法の実践研究を行う。

○ 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導を行うための指導方法の実践研究

・「性に関する指導」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。

【構造化された授業の提案】

- ・ 学習内容の明確化（1時間1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明らかな授業）
- ・ 基礎的・基本的な知識の習得と、知識を活用する学習活動の取組
- ・ 学習内容を主体的に取り組ませるための教材化
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現

ア 小学校部会授業研究会

令和5年11月29日（水）八潮市立八幡小学校

第4学年「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

教 諭 藤田 晃輔（T1）

養護教諭 富塚 里江（T2）

イ 中学校部会授業研究会

令和5年11月16日（木）志木市立志木中学校

第1学年「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

教 諭 市橋 亜美（T1）

養護教諭 力丸真智子（T2）

ウ 高等学校部会授業研究会

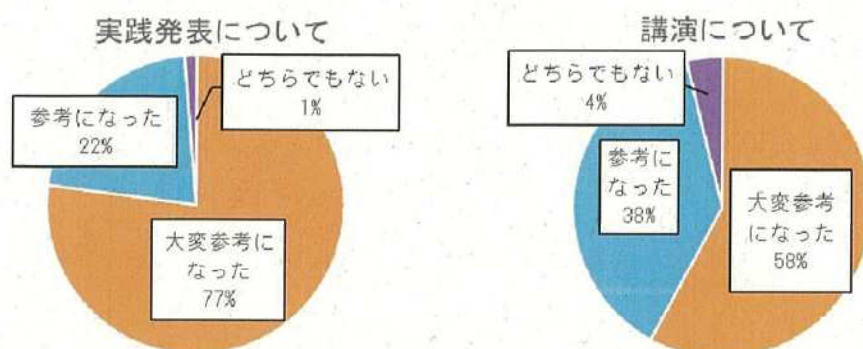
令和5年11月22日（水）県立北本高等学校

第2学年「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

教 諭 川尻鈴ノ介

4 事業の成果と課題

(1)「性に関する指導」指導者研修会について ＜参加者アンケートより＞



【実践発表について】 ※一部抜粋

- ・小学校が参考になりました。ケーススタディをこういう形で入れる発想がなかったので、参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・スタンダードな性教育実践から、ICT 機器を活用した授業、自分事として課題を捉えられる年齢でのライフプランを見据えた授業展開など一つのテーマの実践発表でありながらも教育という大きな枠組みの中で幅広く、汎用性が高い内容で大変勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・どの校種もポジティブな捉え方になるような、性教育であると感じました。自分の中でも性教育となると良い悪いで考えてしまうところがあるので、今日のような実践のとおり、子どもたちが責任をもち幸せに生きる選択ができるような教育をしていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・これまで実施してきた4年への保健教育ですが、指導案検討でイメージを持つことや、事前の実態把握、授業の工夫などは今後取り入れたいと思うものばかりでした。また、中学校での ICT 活用がとても勉強になりました。授業実践を聞ける機会はとてもありがたいです。先生方、ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・ワードクラウドは、学級や学年のイメージを視覚化でき、授業の前後でどのような変容があったか把握しやすいと感じた。(小学校・養護教諭)
- ・児童や生徒が主体的にかつ深く学ぶための実践的な工夫を事例から知ることができたため。(小学校・教諭)
- ・具体的な指導の内容や、使用したワークシートについてご解説いただき、自分の学校でも同じような授業をしてみたいと思ったため。(小学校・養護教諭)
- ・特に小学校の内容は、保健の授業で扱っている内容なので、参考にしたい。また、中学、高校の内容も知れたことで、系統がわかり、指導に繋がりをもたせることができると感じた。(小学校・教諭)
- ・各発達段階における養護教諭との TT を含めた実践例で担任とどう役割分担したら良いか。また、小学校での指導がどのように中学、高校と繋がっていくか知ることができ小学校では基礎知識と性や他人への前向きな感情を教えることが大切であると学んだ。中学校では ICT を活用し自分でまとめる、他者の考えをリアルタイムで共有するなど行なっていて考えの交流や主体的な学習について取り入れたい部分を多く学んだ。高校の実践では学んだことを自分の人生にどう生かすか考える授業で性教育のゴールだと思った。(小学校・養護教諭)
- ・子どもたちが参加型の指導を進める上でとても参考になりました。(小学校・養護教諭)

- ・指導上の配慮事項や子どもの反応等も大変参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・小中高のそれぞれの学校種の実践が開けたことが、今後の参考になった。養護教諭の方の実践が多く、担任等の連携の面でもとても勉強になった。(小学校・養護教諭)
- ・自分が以前に行った実践と似ているところがありました。今まで手探りで取り組んでいて自信がありませんでしたが、方向性は間違っていないのだと確認できて少しほっとしました。より子供達に響く指導ができるよう勉強していきたいと思います。(小学校・養護教諭)
- ・児童が主体的に考える事が大切だと分かりました。保護者の経験談を取り入れる事も良いと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・小鹿野小学校の事例発表がとても参考になりました。指導する際の担任の先生と養護教諭の役割分担など、分かりやすかったです。本校での指導の際に、児童の実態に合わせて生かしたいと思いました。また、小学校で指導したことを中学、高校へ繋げていくことの大切さが分かりました。(小学校・養護教諭)
- ・実際に行った指導例を発表していただき勉強になりました。今までの自分の指導では、どうしても一方的に説明する時間が多く悩んでいたのも、今年度は本日の実践例を参考に展開を考えたいと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・どの校種の先生方も計画的意図的に保健教育における性教育に取りくんでいらっしやうととても参考になりました。また ICT を活用した授業展開がますます求められた教育手段になることを実感しました。(中学校・養護教諭)
- ・中学の取り組みでは、異性について調べることで、互いの理解につながり、深まると思いました。養護教諭と連携していきたいです。(中学校・教諭)
- ・校種別、発達段階別の指導方法や、健康課題の差、留意事項の違いなど非常に分かりやすく勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・指導の視点や、今回の授業で生徒がどんな反応を示し、何を学んだのかを知ることができ、今後の教科指導につながる内容でした。(中学校・教諭)
- ・カテゴリーによってアプローチの仕方が異なることを比較、知ることができた。また、小学校の発表でケーススタディをまとめて行うことの重要性に気付かされた。ただ知識を教えるのではなく、実践で使うことで自分ごととして捉えることができ、表面上だけの学習にならないので今後取り入れていきたい。中学校に関しては、小学校の時に習ったことや中1だからこそ性に関するアンケートを取ることで、授業に活かせることができ、小中連携にも繋がれると感じた。(中学校・教諭)
- ・性教育は生徒が恥ずかしがってしまうため、一方的な講義形式になってしまうことが多いが、子ども達が自ら疑問点を見つけ、調べ、発表することで自分ごととして学びを深めることができると感じたから。(中学校・養護教諭)
- ・養護教諭として性に関する指導にどう関わっていけばいいかわからなかったのも、校種ごとに知ることができて大変参考になりました。担任との連携、学校内での共通理解そして保護者への理解も大切だとわかりました。(中学校・養護教諭)
- ・養護教諭の特性を活かしていたこと、タブレットを効果的に使用していたこと、児童生徒が自身と結び付け考えさせる工夫がされていたことが参考になった。(中学校・養護教諭)
- ・性に関する指導の事例発表を視聴し、校種それぞれに合わせた指導の仕方や授業内容が工夫されていると感じました。能動的な学習者観に立った教育の実践、素晴らしいかったです。(高等学校・養護教諭)
- ・友達との意見交換やグループワークの方が効果的であることを学んだ。(高等学校・教諭)
- ・生徒の性教育に対する恥ずかしさを軽減するために、事前アンケートを実施し、みなさんの疑問や考えの共有を行ったという取り組みが大変参考になりました。(高等学校・養護教諭)
- ・性教育は発達段階に応じて系統的に行う必要性を再確認できました。(高等学校・養護教諭)
- ・小中高と異なる発達段階に応じて、内容や流れ、教材についてたくさんの工夫が詰まっ

た先生方の実践は、大変参考になりました。(高等学校・養護教諭)

- ・小中高と段階的な指導の流れを見させていただき、具体的な指導のイメージを持つことができた。(高等学校・教諭)
- ・生徒や教員の感想なども共有していただき、成果や課題がわかりやすかった。(高等学校・養護教諭)
- ・校種によって、それぞれの工夫された授業展開が面白かったです。個人的にはスクールタクトを使って、子供の率直な考えを聞き出すというのが面白いと思いました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・授業の組み立て方や教材等、とてもわかりやすく、特別支援学校でも工夫次第で使用できるといっても参考になった。(特別支援学校・教諭)
- ・シルエットのクイズ形式や授業展開など具体的で非常に参考になりました。(特別支援学校・教諭)
- ・小低では令和4年度まで「体育」の保健分野で、プライベートゾーンについて授業実践をしていましたが学習指導要領の内容に載っていないことか今年度より「生活単元学習」での扱いになりました。その中で養護教諭との連携が検討されていますが、体制面の課題から2人いても出前授業は難しい…と言われてしまう現状があります。そのため、3名の先生の実践を聞きながら養護教諭と担任の役割分担がいかに重要であるかを学ぶことができました。特に中・高等部での連携を本校でも検討していく必要性が高いことを学べたので、提案していきたいと思います。(特別支援学校・教諭)
- ・小学校の先生の発表が本校中学部の生徒の実態にあっていて、参考にさせていただきたいと感じた。(特別支援学校・教諭)
- ・実際に保健の授業の事例を学ぶことができ、一授業の流れをイメージすることができる機会となったから。(教育行政・指導主事)

【講演会について】 ※一部抜粋

- ・なぜ性教育が必要なのかというところから、深い学びのための「ネタ」となる指導方法の例まで教えていただけて、参考になった。実践してみたいと思う。(小学校・養護教諭)
- ・野津先生の講義をもっと聞きたかったです。世界と日本の性教育の在り方や日本の実態など、エビデンスに基づいた講演内容が日頃から性教育の在り方を迷いながら実践していた自分自身にとってひとつの道しるべになりました。小学校の性教育も系統的指導の一助になっていることを願いながら今後も授業をしていきたいと思います。(小学校・養護教諭)
- ・諸外国のセクシャリティ教育について知識がなかったので勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・諸外国の実情が素晴らしく、日本のみ後退していると感じていたので実情を知るとともに課題も知ることが出来た。(小学校・養護教諭)
- ・校種にもよるかとは思いますが、性感染症についてもっと触れていかなければいけないと危機感をもちました。(小学校・養護教諭)
- ・各諸外国や、日本の性教育についてわかり、どんな教育が必要なのかわかった。また、どんな教育が子どもたちにとって良いものなのかもわかった。(小学校・養護教諭)
- ・グローバルな視点で各国の性教育の実施について理解できた。性についての相談を受けた際の養護教諭の心構えを学べた。(小学校・養護教諭)
- ・児童の発達段階や実態を把握し、必要な内容・教材・指導方法などをよく検討すること、児童自身が真剣に考えられる学習にすることなどが大切であることを学ぶことができた。(小学校・養護教諭)
- ・性教育は、一時の流行の指導項目ではなく、「生徒が身につけた知識をもとに、本当に幸

- せになるために、どう考えどうするか」という保健指導・個別指導である、ということが再確認できました。(小学校・養護教諭)
- ・内容が盛りだくさんでもっとじっくりとお話を聞きたかったですが、国際的な視点から日本の性教育の現状や指導上の留意点などを知ることができました。(小学校・教諭)
 - ・性感染症や性交体験などの統計は予想と違う部分もあり、改めて知識の獲得が必要だと感じた。教授の話が大変面白く、もっと聞いていたかった。特に個別指導の話などをもっと詳しく聞きたいと感じた。(小学校・教諭)
 - ・個別指導において、相談者が話してよかったと思えるような時間が作れるようにすることが大切だということが印象に残りました。今後性に関する内容の個別指導や健康相談では、傾聴することを特に意識して取り組んでいきたいです。(小学校・養護教諭)
 - ・欧米諸国の性教育事情から、現在の日本の性に関する指導の課題まで、幅広い視点から知ることができました。指導の際に大切な拠り所を確認することや、一教師の思いのみで行う指導にはしないことなど、心に留めておきたいことがたくさんありました。時間があればもっと細かい部分までお聞きしたかったです。(小学校・養護教諭)
 - ・他国の性と人間関係という学習項目が印象に残っており、性教育とは知識だけでなく他者尊重、よりよい人間関係構築等にも関わってくると思いました。知識が増え思考が複雑になる上の学年ほど自分の意見を持ち意見交流してほしいと思いますが羞恥などから発言者が少なくなるため、発言しやすい雰囲気や仲間づくり、ブレインストーミングなどの仕掛けづくりが大切であると学びました。教え込むだけの性教育ではなく、正しい知識を得た上で自分なりの考えを持ち他社との中で考えを深められるような性教育を行なっていきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
 - ・野津先生の性に関する指導への熱意を端々に感じることができました。「日本は性教育後進国だ」と、ここ数年メディアなどで取り上げられている中、日本の教科書検定制や学習指導要領の意義を改めて感じるとともに、あとは実践する私たちにかかっているのだと強く感じました。(小学校・養護教諭)
 - ・学習指導要領の内容をふまえ、学校で性教育を進めるにあたってのポイントが詳しくわかったから。(小学校・養護教諭)
 - ・野津先生には細かく具体的な説明をしていただき、とても勉強になりました。特に保健室で保健指導・個別指導を行う時、自分が喋りすぎていると気づきました。今後は相談者が話す時間を確保することを意識して、話して良かったと思ってもらえる指導を心がけます。(小学校・養護教諭)
 - ・現在、本校では、性に関する指導の見直しを行っているところです。内容だけでなく教え方も検討していくことがさらなる充実につながるということで、養護教諭や保健主事だけでなく、全教職員で連携を図りながら協議していきたいと思いました。(小学校・養護教諭)
 - ・グローバルな視点から「日本の性に関する教育」がどうあるのかのお話や、効果的な指導方法まで多岐に渡るご講演で大変勉強になりました。自分は養護教諭なので、「日本に養護教諭がいる強み」を再認識するとともに、個別指導について、意図的、計画的にという部分で大変考えました。2学期以降、学習指導要領に基づいた全体指導教材の工夫を行い、養護教諭の専門性を生かした個別指導を実施したいと思いました。(小学校・養護教諭)
 - ・世界の性に関する取組について、初めて知る機会となりました。世界的にも課題が多い分野だということがわかりました。日本においても地域、学校、家庭、子どもの実態が違ふことから、その実態を踏まえた上で実施することが大事であると改めて学びました。どこまで踏み込んでよいのか難しい分野であり、日々頭を悩ませていますが、生命の神秘を伝えられるというのは、保健体育教師として幸せであると感じました。私自身、誇りをもって日々勉強していきたいと思いました。(中学校・教諭)
 - ・世界の性教育と日本の性教育を比較したお話を聞く機会がなかったので、勉強になりま

- した。一部の報道でその国全体が同様の指導をしていると思ってしまいがち...というところでは、まさに私もその1人でした。日本の性教育の現状や他国からどう見えているのか、今日の研修を受けなければ知ることがなかったと思います。本当に学びが多い研修となりました。ありがとうございました。(中学校・養護教諭)
- ・性に関する指導において、集団指導と個別指導との区別、留意事項、様々な手法について熟知することができた。(中学校・養護教諭)
 - ・all or nothing ではなく方法や教材の工夫をしながら進めることをご推奨だったこと。(中学校・養護教諭)
 - ・日本は性行為、多様性、ジェンダーの内容不足や欠落している現状であることを知ることができた。しかし、授業時間数に限りがあることも事実であって、単体で時間を取るのには難しい。ここで、学校教育全体で取り組むことという野津先生の話から教科横断的な授業展開を今後取り組んでいきたいと思った。保健体育の保健分野だけで行う、頼るのではなく、学級経営の中でも伝えていきたいと思った。(中学校・教諭)
 - ・世界の性教育について学ぶことができた。性教育は保護者、学校、地域で連携しながら、共通理解を図りながら行う必要があると学んだ。性教育を行う立場として、自覚を持ち、教材研究や授業の工夫を行っていききたい。(中学校・養護教諭)
 - ・外国の実践が大変参考になりました。また学習内容の検討だけでなく、指導方法の検討が必要という先生のお話が印象的でした。(中学校・養護教諭)
 - ・他の国の取り組みやケーススタディの例を挙げて説明してくださり、興味深い内容でした。(高等学校・教諭)
 - ・グローバルな取り組みについて教えていただき大変参考になりました。性教育について賛否の議論で終わるのでなく、どういった内容を生徒に伝えるかという議論が大切というお話が印象に残りました。(高等学校・養護教諭)
 - ・海外の性に関する指導について知る機会がなかなか無いため、良い勉強になった。(高等学校・教諭)
 - ・海外の性教育の実態は日頃なかなか耳にする機会がないため新鮮でした。またそこから見えてくる日本の性教育の長所や、不足している部分についてもお話いただき視野が広がったように感じます。後半のお話もゆっくりお聞きしてみたかったです。(高等学校・養護教諭)
 - ・世界の性教育のあり方を知れて勉強になりました。世界と比べ、日本は性教育しやすい環境にあるにも関わらず、必要とわかっていながらもどう行なって良いかわからない等不安をかかえる教員も多くいます。特に若い教員が増え、歳の近い生徒たちにどう伝えれば...と悩みを吐露してくれた教員もいました。本校は性教育…包括的セクシャリティー教育の大切さを理解していながらも組織づくりがなされておりません。組織を作っていこうと私含め教人、声を上げていっているのです、先生のご講義を参考に進めていけたらな、と考えております。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・海外との比較を詳しく聞けました。ケーススタディーが実践的で、自校でどのようにできるか考えるきっかけになりました。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・題材的に羞恥心があったり、マイナス的なところもあるので、お話にあったようにマイナスイメージを払拭できるよう指導、支援をしていきたい。(特別支援学校・教諭)
 - ・望まない妊娠から意図しない妊娠、印象に残りました。(特別支援学校・養護教諭)
 - ・エイズについて、なんとなくではなく根拠をしっかりと持つために調べ直す必要があると感じました。相談者が話す時間をできるだけ多く確保することが非常に大事だということを改めて認識することができました。(特別支援学校・教諭)
 - ・オランダ、フィンランド、イングランド、アメリカの性教育の現状を初めて知り、性教育への考え方は国州によって全く異なることを知りました。「5、さらなる充実に向けた

教育課題」における自転車の図がとてもわかりやすく、運転手指導者の育成×前輪教育制度システムの改善・充実×後輪教材・指導方法の改善・充実の3つが機能することによって充実していくことを理解することができました。(特別支援学校・教諭)

- ・普段は考えないグローバルな視点から普段の実践という身近なところまでつなげて話していただき、“性に関する指導”が単なる一つの指導領域というよりは、子どもたちの“生”につながる大切な学習内容であるという思いを新たにしました。(特別支援学校・教諭)
- ・性に関する指導について、他の国でもその国の風土や文化に応じた取組が成されていること、またそれぞれによさや課題があることもよくわかりました。学校現場は〇〇教育が溢れておりやるべき事が山積みですが、どの教育に関しても、主体的対話的で深い学びに資することが改めて大切だと実感しました。本日はありがとうございました。(教育行政・指導主事)

【生命（いのち）の安全教育について】

＜令和5年度に、取組を計画・実施した事例＞ ※一部抜粋
(小学校)

- ・特別活動 低学年 プライベートゾーン
- ・市の取組としていのちの授業を行ってもらう。
- ・体育(保健)、特別活動、道徳、理科など。小中の養護教諭で指導内容を確認し、教材提供や養護教諭が関わるものの確認をしている。他校種へのつながりを意識。
- ・2学期発育測定で確保してある時数の学校行事1の中で実施予定
- ・助産師に講義を依頼予定
- ・4年生の保健教育、5年生へ林間学校前の月経指導。
- ・特別活動として実施している「性に関する指導」に関連しての指導を計画している。
- ・4年生の保健の授業後にミニ保健指導として計画を入れた。
- ・学級活動・性に関する指導・身の回りの安全(声掛け事案について)(プライベートゾーンについて)
- ・校外学習前の体の変化、手当の仕方(男女、高学年)
- ・小1にプライベートゾーンの授業をしている。
- ・特別活動 1年、3年、6年(プライベートゾーン、距離感、SNSの使い方)
- ・授業参観時に道徳をととし、全学年で行った。
- ・所沢市では教育委員会を中心に市全体で命の指導を積極的に研修で行っていると思います。(市内共通した指導用パワーポイント上映)

(中学校)

- ・命の教育・・・助産師による出前授業、赤ちゃんふれあい体験
- ・3学期に各学年で性の指導を計画している。(その中で実施予定)
- ・各学年の学級活動など、性教育の内容に、生命の安全教育で扱う内容を盛り込んでいます。
- ・総合的な学習の時間に助産師による「いのちの授業」の講演会を実施予定
- ・産婦人科医を講師に招き、中学3年生および保護者へ向けて性に関する講演会を開催予定
- ・総合・講師を招いて、いじめや性教育と絡めながら講演をしてもらう。
- ・特別支援学級の特別活動時間で性に関する指導、三年生の特別活動の性に関する指導にて指導を計画中
- ・総合の時間、非行防止教室

- ・総合で性教育を行っているため、そこに盛り込んだ。
- ・保健学習の中に、命の安全教育の教材・資料等を活かした実践を計画中である。また、志木市養護教諭会において、R 5 年度の研究課題テーマとして取り組みを始めている。

(高等学校)

- ・他分掌（生徒指導部等）で計画が進められているのかもしれない。

(特別支援学校)

- ・保健の授業
- ・性教育の指導の中で実態に応じて各学部、学年で実施している内容です。
- ・各学部個別の実践の中で、命の安全教育に関する内容を取り扱っている。(学校安全年間計画、学校保健年間計画)

<成果>

- 学習指導要領の指導内容をおさえた授業実践について周知することができた。
- 小・中・高等学校の系統的な指導内容の理解が深まった。
- 新学習指導要領改訂の背景や抑えるべきポイントの理解が深まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解が深まった。
- ケーススタディなどの具体的な指導方法について理解が深まった。

<課題>

各学校で、「性に関する指導」を適切に推進していくために、学習指導要領を正しく理解することや、発達の段階を踏まえた指導内容、学校全体での共通理解、保護者の理解、集団指導と個別指導の連携を密にした効果的な指導をする必要がある。また、「生命（いのち）の安全教育」の内容で、「性に関する指導」に関連付けることができるものについて、各学校の実情に応じた取組を実施していく必要がある。引き続き研修の充実を図りたい。

(2) 「性に関する指導」授業研究会について ※参加者アンケートより一部抜粋

ア 小学校部会

- ・実際に授業に入らせていただくことが多い単元内容について、非常に精選され、養護教諭と教諭の専門性が生かされた授業を拝見し、勉強になりました。(小学校・養護教諭)
- ・冨塚先生のおだやかで温かい言葉が心に響きました。ICT を効果的に活用していて、とても勉強になりました。子どもたちが自分事として考えていたので、子どもたちの表情も生き生きしていました。本日学ばせていただいたことを本校でも生かしていきたいです。(小学校・養護教諭)
- ・本時は日本の性教育自体賛否が起こることが多い、正にそのど真ん中の学習内容で、知識の獲得のさせ方や学習の流れなど、学びの多い45分でした。(小学校・教諭)
- ・マンガの吹き出しをスクラップで活用したり、ワークシートでさらに学びが深まったと感じた。(小学校・教諭)
- ・児童の言葉から課題を設定したり、プリントかタブレットか選べたりなど、主体的に学べる展開になっていて、大変勉強になりました。(小学校・主幹教諭)
- ・単元を丁寧にとりあつかい、児童の発言も全て受け止めていて、児童に、思春期の成長が「あたりまえのふつうのこと」と伝わっているように感じました。ケー

- ・スタディも、本当に友達に伝えるようにしていて、有効だとあらためて認識しました。T1、T2が流れるようにすぐわかりやすかった。(中学校・養護教諭)
- ・教科横断的な視点で、カリキュラム・マネジメントを考える機会となった。(教育行政・指導主事)

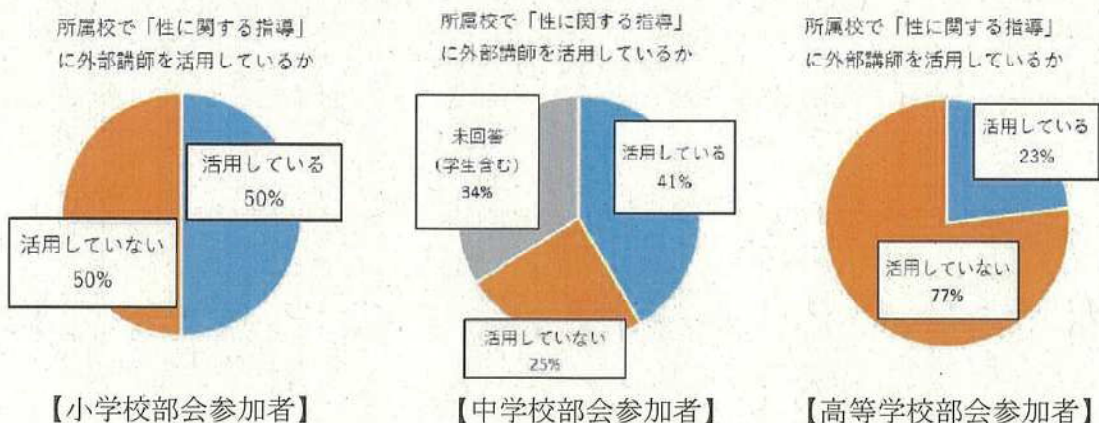
イ 中学校部会

- ・タブレットを使い、ロールプレイの動画を録画させたり、生徒の意見や感想をその場ですぐに確認できることで、授業がより効率的に効果的にできると感じた。(小学校・養護教諭)
- ・「生命の安全教育」とも大きく関わる内容の授業を見せていただいたことは大変貴重でした。性というはずかしさを感じる子も多い中、人間関係にもつながるというところが自分事としてとらえられるような授業でした。(小学校・養護教諭)
- ・担任と養護教諭の連携がすばらしく、自分も授業に参加したいという意欲が湧いた。中学生だと気恥ずかしくて難しいのかと思われたロールプレイングもヘルプカードを使ったり、色々な意見を参考に実践できていてICTも活用した高度な授業を見せていただきました。(小学校・養護教諭)
- ・子どもたちのタブレットの活用がすばらしい(ワークシートへの入力、ロールプレイ動画をとって提出、保護者へのまとめ資料の共有、QRコードからの感想記入etc)。教員側もタブレット操作に慣れていて、生命の安全教育を取り入れた内容の授業をもっと見たかった。(中学校・養護教諭)
- ・まとめプリントを配布し、家庭で話してもらうことで、家庭での性教育のきっかけや学校でどんなことを学んでいるのか知ってもらう機会になる。Googleformで保護者からの感想を提出してもらえることで、次の保健教育の参考になる。(中学校・養護教諭)
- ・知識を与えた後の「行動をどのようにしていくか」について、1時間しっかり使って定着させる素晴らしい授業だったと思います。(中学校・養護教諭)
- ・ロイロノートを活用した授業を見る機会がなかなかなく、勉強になりました。(中学校・養護教諭)
- ・保護者アンケートを事前に取り、また最後に課題として家の人と話して共有させる所など、なるほどと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・実際に役割を演じることで、生徒たちがイメージをもちやすく、今後の生活に実践しやすくなる。知識だけで終わりにせず、生徒に体験させ、生徒の声でまとめているのが大変良かったです。(中学校・教諭)
- ・中学校段階において、性について正しい知識を学ぶことの重要性とともに、自分のこととして考えながら、課題を解決していくことの価値・意義を考えることができました。(教育行政・指導主事)
- ・ティームティーチングで行う授業は初めて見ることで、養護教諭の役割、保健体育科からの役割と、専門性を活かした授業というものがよく分かりました。生徒が「自分事」として捉えられるようにするために、ロールプレイを使った対話的な授業内容で、生徒自身が考えられる内容になっていて、参考にさせていただきたいところが多くありました。(学生)
- ・今回の指導内容の中で、養護教諭の専門性を生かしていくことに難しさを感じていましたが、まとめで相談窓口としての保健室利用について伝えることで、授業での学びを日常生活に繋げることができることがわかった。(学生)

ウ 高等学校部会

- ・性教育といのちの教育が合わさっていて、性教育の重要性や生活に生かせる知識としてより定着していたと感じました。(高等学校・教諭)
- ・生徒がまとめたスライドの後に、教員が補足をすぐ行うことで、とても分かりやすいと感じた。その中で、キーワードとなるものをハッキリ生徒に伝えていた印象があり、分かりやすかった。「恥ずかしい・いやらしい」という印象を持ちがちな性教育ですが、生徒が主体的に活動を行っていた。(高等学校・教諭)
- ・2学期に同じ単元の授業を行っていました。授業をしながら、学びは深まっているのか、言葉の表現がよくなかったのではないかと感じていました。授業を見学させていただき、私自身の中で単元作りに見通しを持つことができました。(高等学校・教諭)
- ・性に関する指導については、個人の感覚のみならず、学校全体で共通理解をしながらがよいと改めて感じた。生徒によく考えさせることの重要性をより認識した。(高等学校・教諭)
- ・自身の授業として、単元毎に完結させることが多いが、まとまりとして振り返ることが効果的であることがわかった。また、映像を分ける等、ICTの有効性を再認識できた。(高等学校・教諭)
- ・生徒がまとめ、語る場面が多く、それに付随して教員が補足を入れる形は、複数の単元をまとめる1コマとしての使い方に工夫を感じました。「性」を悪いものとしてとらえさせない話しぶりは見習おうと思います。(高等学校・教諭)
- ・「性に関する指導」の授業づくり・進め方だけでなく、効果的な学習のために保健体育科全体で単元計画を見通した実践を見ることができて良かった。また、研究協議の中で、保健が担っている役割・責任は大きいと改めて感じる事ができた。(高等学校・教諭)
- ・ICTの活用が参考になりました。ジャムボードを使用することで、生徒の考えを把握して、授業の展開に応じて発表させている点は、私も活用しようと思いました。(高等学校・教諭)
- ・センシティブな内容である性教育をどのように生徒に伝えていくかを改めて考える良い機会になった。妊娠(性交)等はただ怖いものではなく、事前にできることもあれば後から対処できる方法もある。どう伝え、どのような印象を生徒に残すか、どんな学びをもたらすことができるかを改めて考えさせられた。(特別支援学校・教諭)

エ 外部講師の活用について ※参加者アンケートより



<外部講師を活用している場合の具体的内容> ※参加者アンケートより一部抜粋

(小学校)

- ・小6 いのちの授業（産婦人科医） いのちの大切さ、プライベートゾーン、異性とのかかわりかたなど
- ・助産師の直井先生を講師にお招きしてお話していただいています。出産の映像等も流していただき、より命の大切さが伝わり、心が温かくなる授業です。「生まれてきてくれてありがとう」という言葉が心に残ります。
- ・助産師 小6児童にむけて…命について 保護者へむけて…家庭でできる性教育について
- ・助産師による性教育（いのちの誕生）
- ・小5 生命の授業（助産師さんの後援 生命の尊さ、妊娠中や出産時の様子、おなかの中の赤ちゃんの様子、二次性徴など）
- ・小学3年生の特活で、命の授業にて助産師さんより講話。
- ・5年生の理科、生命委の誕生の内容にあわせて、受精～誕生、家族の思い、相手の尊重等について
- ・4年生の総合学習で、「性に関するお話」として、保健師さんから異性の体を知るという内容で、保護者参観で行いました。
- ・4年生 からだの成長 産婦人科の助産師が来校 出産（本当の出産シーン）、卵子と精子が出逢う確率など、月経について
- ・学校保健委員会、学校公開日に誕生学の講師の先生をお招きして、ご講演をしていただいています。4年生対象です。

(中学校)

- ・サラ助産院（直井先生）による、いのちの授業／出産ビデオ
命をつなぐ番になること、今、家族の形は三座までも愛されて今があること、ジェンダーと体の性への配慮は別であることなど
- ・助産師による思春期講座（性教育講演会）を各学年で実施している。
- ・避妊方法、若年での妊娠、中絶の現状、デートDV、同意について、自分の心身は自分で守ること、外部の相談できる機関の紹介等
- ・二次性徴、男女交際について、LGBTQ+、子宮頸がんワクチンについて
- ・性欲との向き合い方、避妊法、人工妊娠中絶についての詳細
- ・高橋幸子先生に1学期に講演をして頂いた。月経痛、避妊薬、HPVなど多岐に渡った内容で、参観日に設定したため、保護者も1クラス分くらいの人数が参加されました。しかし、講演会費用は大きな課題です。（動画の視聴も良いのかもしれませんが）
- ・性感染症について、デートDVについて、男女交際について
- ・3年次で、校区内の産婦人科より助産師さんに来ていただき、約1時間の講演をしていただいている。
- ・中学校3学年「いのちの授業」を助産師さんをお願いしています。
- ・生命の誕生、生殖器の発育、ジェンダー、LGBTQ+、性感染症、性被害、生命の安全教育、妊娠、出産、中絶、生理痛
- ・いのちの授業において、助産師さんやピンクリボンの会の方に来て講義をしていただく。
- ・埼玉県助産師会の方に毎年お世話になっています。内容は、主に『生命の誕生』『多様性』についてです。今年度は学校保健委員会も含めての命の授業を行う予定です。
- ・「命の授業」というテーマで、生まれてくる命、人工妊娠中絶、障害を持って生まれた人の話など、色々な場面での命について学びながら性への正しい知識を身につける。

(高等学校)

- ・人権教育で実施。市内の産婦人科に勤務している産婦人科連絡協議会の方をお招きした。

(特別支援学校)

- ・R4 助産師による出前授業
- ・R5 NPO ピルコンの「ここからカルタ」ワークショップ(1月)

(八潮市教育委員会主催(社会教育課))

- ・いのちの授業(生命誕生、いのちの大切さ) 小6、中3 助産師、直井亜紀 先生
- 小6は児童1時間、その後、保護者向け1時間

5 令和6年度の事業予定について

(1)「性に関する指導」課題解決検討委員会の実施(継続)

ア 日時

- 第1回 課題解決検討委員会 令和6年 6月18日(火)(予定)
- 第2回 課題解決検討委員会 令和6年 8月27日(火)(予定)
- 第3回 課題解決検討委員会(部会別授業研究会)
令和6年10月～11月 (予定)
- 第4回 課題解決検討委員会 令和7年 1月24日(金)(予定)

イ 内容

- ・課題解決検討委員会事業計画の作成
- ・「性に関する指導」指導者研修会の計画
- ・「性に関する指導」授業研究会の計画、指導案の検討
- ・成果報告
- ・事業のまとめ 等

(2)「性に関する指導」指導者研修会

ア 日時 令和6年8月6日(火) オンライン開催

イ 内容

- ・行政説明
- ・事例発表

小学校指導事例	第4学年「体の発育・発達」 (イ) 思春期の体の変化 八潮市立八幡小学校	教 諭	藤田 晃輔
中学校指導事例	第1学年「心身の機能の発達と心の健康」 (イ) 生殖に関わる機能の成熟 志木市立志木中学校	養護教諭	力丸真智子
高等学校指導事例	第2学年「生涯を通じる健康」 (ア) 生涯の各段階における健康 県立北本高等学校	教 諭	川尻鈴ノ介

Ⅱ 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会開催要項

1 趣 旨

性情報の氾濫や規範意識の低下から、青少年の性に関する問題行動に伴い、中高生における性感染症や人工妊娠中絶などが喫緊の課題となっている。

この課題解決のためには、学習指導要領の趣旨に基づいて、学校全体で共通理解を図り、保護者の理解を得ながら、児童生徒の発達段階を踏まえた指導が必要である。

学校における性に関する指導の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和5年8月9日（水） 午後1時20分から午後4時30分まで
（接続：午後1時～）

3 会 場 Zoomによるオンライン開催（ライブ配信）

4 主 催 埼玉県教育委員会

5 参加対象者

（1）公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（体育・保健体育担当教職員・養護教諭等）

（2）市町村教育委員会の指導主事

※参加人数の上限を500名とし、上限に達した場合は、申し込みを締め切ります。

6 日 程

13:00	13:20	13:25	13:45	14:45	14:55	16:25	16:30
受付	開 会 行 事	行政説明 20分	指導事例発表 60分	休憩	講 演 90分	諸 連 絡	閉 会 行 事

7 内 容

（1）行政説明

・教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上 三四郎

（2）埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会指導事例発表

・小学校指導事例 第4学年「体の発育・発達」

（イ）思春期の体の変化

小鹿野町立小鹿野小学校 阿部 真子 養護教諭

・中学校指導事例 第1学年「心身の機能の発達と心の健康」

（イ）生殖に関わる機能の成熟

所沢市立小手指中学校 三好明日美 養護教諭

・高等学校指導事例 第2学年「生涯を通じる健康」

（ア）生涯の各段階における健康

県立和光国際高等学校 斉藤美智子 養護教諭

(3) 講 演

演題「学習指導要領に基づく性に関する指導の考え方と進め方」

講師 筑波大学名誉教授 野 津 有 司

8 その他

(1) 研修当日用意するもの

ア オンライン視聴することができる端末等

イ 研修会配布資料及び筆記用具

※埼玉県HPからダウンロードし、オンライン画面を見ながら資料も参照できるように準備する。資料は令和5年8月4日（金）頃までに掲載予定。

トップページ＞健康・福祉＞健康＞学校保健に関すること＞各種研修会の配布資料

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/kenshushiryou.html>

2次元バーコード



現在は掲載終了

ウ 保健教育指導参考資料 なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー

(令和5年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)

※各校に1冊配付済みの他、埼玉県HPからもダウンロードできます。

トップページ＞健康・福祉＞健康＞健康教育

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/hokenkyouiku.html>

2次元バーコード



(2) 申込から研修当日までの流れ

別紙「令和5年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会申込マニュアル」を参照

一指導事例発表資料一

【小学校指導事例】

第4学年 体育（保健領域）

「体の発育・発達」（イ）思春期の体の変化

発表者：小鹿野町立小鹿野小学校 養護教諭 阿部 真子

【中学校指導事例】

第1学年 保健体育（保健分野）

「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖に関わる機能の成熟

発表者：所沢市立小手指中学校 養護教諭 三好明日美

【高等学校指導事例】

第2学年 保健体育（科目保健）

「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

発表者：県立和光国際高等学校 養護教諭 斉藤美智子

令和5年度 埼玉県「性に関する指導」指導者研修会

小学校指導事例発表

第4学年「体の発育・発達」

(イ) 思春期の体の変化

小鹿野町立小鹿野小学校 養護教諭 阿部真子

学校の概要

小鹿野町立小鹿野小学校



開校 150周年

児童数 236名

学級数 13学級(通常級10・支援級3)

学校教育目標

- ・仲良く力を合わせる子
- ・明るく元気な子
- ・進んで学習する子

めざす学校像

明るく 楽しい 地域に誇れる学校



1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

学習内容の系統性:保健における体系イメージ

生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、
改善していくための資質・能力の育成

個人及び社会生活における
健康・安全に関する内容

個人生活における
健康・安全に関する内容

身近な生活における
健康・安全に関する基礎的な内容

高等学校
より統合的に

中学校
より科学的に

小学校
より実践的に

改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

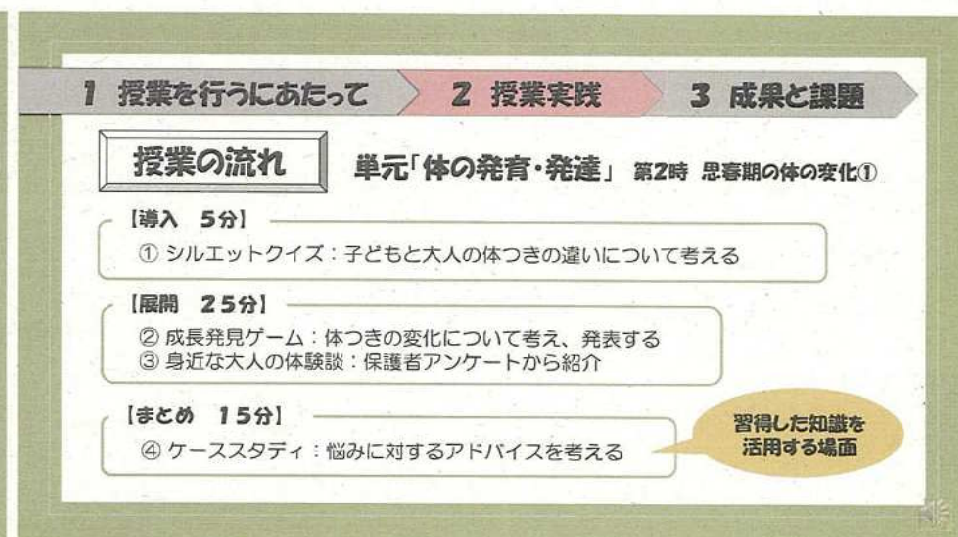
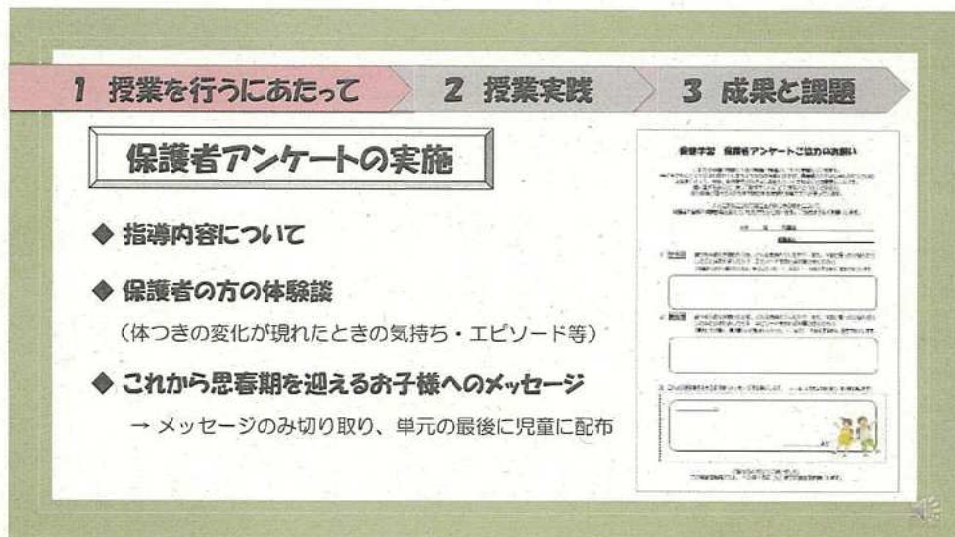
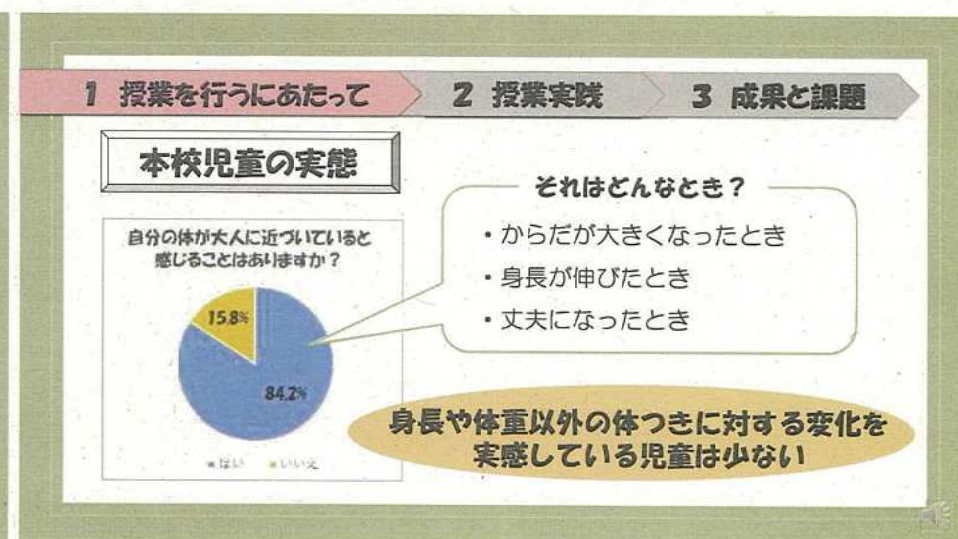
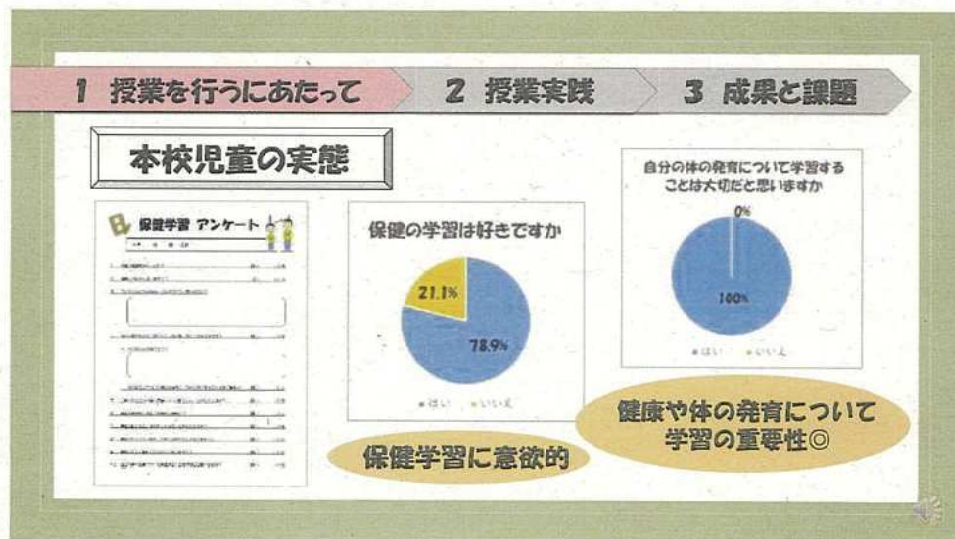
学習内容の系統性

単元「体の発育・発達」

第1時 (年齢に伴う体の変化)	第2時 (思春期の体の変化①)	第3時 (思春期の体の変化②)	第4時 (よりよい発育のために)
○身長や体重の変化 ○個人差	○体つきの変化 ○男女の特徴 ○変声、発毛 ○個人差	○初経、精通 ○異性への関心 ○個人差	○体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方

中学校「心身の機能の発達と心の健康」

生殖にかかわる機能の成熟、成熟に伴う変化に対応した適切な行動



1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【導入】シルエットクイズ

シルエットクイズ

子どもは…
男女で差がない

大人は…
違和感がある

大人は…
男女が入れ替わっているのがわかる

私たちの体は、これからどのように変化するのだろうか

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】成長発見ゲーム

男子の体の変化

性器って？

変化がわかりにくい

【本校児童の様子】
キーワードをあてはめているだけで
学びが深まっていないのでは…

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】成長発見ゲーム

担任がまず見本！

見比べて変化がわかる

恥ずかしさを軽減

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開1】成長発見ゲーム

自分で発見 = 赤で丸 ○
友達が発見 = 青で丸 ○

① 個人 → ② グループで確認 → ③ 発表

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【展開2】 おうちの人の体験談

男性の体験談（男子のなやみ）

周りより成長は早いから、たいてい
特等飛行で風呂に入。大時には
指にめづかれ。
いやな思いもしました。



女性の体験談（女子のなやみ）

元々、体型が横に太かった。たこともあり、
まんこが「おしりが大きい」と。
よく、からかわれていた。
自分としては、おしりが大きいことが、
嫌うか？と「良くない」「変」と思っていた。



➡ 個人差 これから起こる体つきの変化に不安を抱かないように配慮

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【まとめ】

私たちの体は、これからどのように変化するのだろうか



男性はがっしりとした体に、女性は丸みのある体に変化する。
成長の仕方や時期には個人差がある。

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【まとめ】 ケーススタディ

おうちの人の体験談を
もとにした相談内容



習得した知識を
活用する場面

1～3位の人が取り違えよう！（おしりが大きい、まんこが大きい） 4位の人が取り違えよう！（おしりが大きい、まんこが大きい）

➡ 男女どちらの悩みにもアドバイス

1 授業を行うにあたって 2 授業実践 3 成果と課題

【まとめ】 ケーススタディ



「わきや性器に毛がはえているから
誰かにからかわれそう。」

成長することはいいいことだよ。
人それぞれ個人差があるから
気にしないで。

「おしりが大きくなってきた。変なのかな。」

女の人は丸みのある体になる
から心配なくていいんだよ。

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

担任と養護教諭の役割分担



「掛け合い」を意識

担任：授業の進行、個に応じた指導・支援

養護教諭：専門的な内容の指導、配慮事項

思春期：時期、思春期の入り口になっていること
個人差：変化が大きい人もいれば小さい人もいること
変化の時期は人それぞれであること
安心感：成長することは素敵なこと
いつでも相談にきていいこと

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

成果

- ◆ 学習をクイズ化・ゲーム化したことにより、恥ずかしさを和らげ、体の変化を肯定的に受け入れることができていた。
- ◆ 担任と養護教諭の連携で、ポイントを押さえた指導を行うことができた。
⇒ 今後の日常における個別指導につなげることもできた。
- ◆ 体つきの変化を実感していない児童も、自分事として捉え、考えることができた。

1 授業を行うにあたって

2 授業実践

3 成果と課題

課題

- ◆ 児童の実態や発達段階を踏まえた学習活動の工夫
- ◆ 養護教諭との連携
⇒ 校内全体の理解と協力が必要。
資料や教材の提供、ビデオ出演などの方法も…
- ◆ 校内指導計画の見直しと充実

ご清聴ありがとうございました。



令和5年度埼玉県「性に関する指導」指導者研修会 ～中学校指導実践発表～

単元名「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖にかかわる機能の成熟



所沢市立小手指中学校 養護教諭 三好 明日美
(授業時：所沢市立所沢中学校)

所沢市立所沢中学校の概要



- 開校77周年
- 令和4年度：1年生7クラス 2年生7クラス
3年生6クラス
特別支援学級3クラス
全校生徒758名
- 学校教育目標
「自立・共生・貢献」
～求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす～
- 学校経営理念
「はじめに子どもありき」



研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

（イ）生殖にかかわる機能の成熟 主たる学習内容

- ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能となること。
- ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

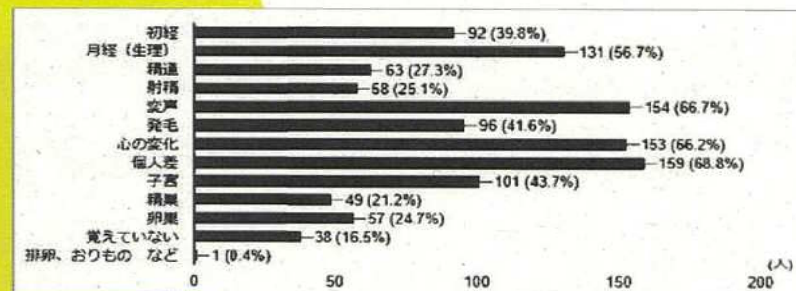
「性に関する指導」を実践する上での課題

- ・生徒が羞恥心を持ってしまうため、「主体的・対話的で深い学び」の実践が難しい。
- ・一方的な講義型の授業になってしまいがち。
- ・自分自身の体のことについて学んでいるが、自分事として捉えることが難しい。

「能動的な学習者観」に立った教育の実践

子どもは教えられ、指示されなければ学ばないという「**受動的学習者観**」ではなく、子どもは本来、学ぶ意欲を持ち、自ら追究し、学び、自分で自分を創っていくという「**能動的学習者観**」を持ち、授業づくりを実践。

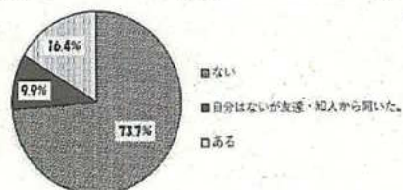
【アンケート①】 小学校の保健の授業で学習したことで、覚えていることは何ですか？（複数回答可）



【アンケート②】

最近になって次のような経験をしたことがありますか？

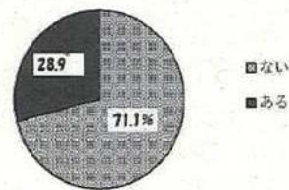
①異性と話すとき、これまでなら何もなかったのに意識してうまく話せない。



【アンケート③】

最近になって次のような経験をしたことがありますか？

②「特定の相手と親しく交際したい」と思ったことはありますか？



生徒の実態

- ・ 明るく前向きな生徒が多く、学習に対しても関心が高い生徒が多い。
- ・ 保健体育をはじめ様々な教科において、身近な話題に対して課題を発見し解決したいと積極的に質問をしたり、自ら調べたり、友達同士話し合ったりする姿が見られる。
- ・ Chrome bookを使った授業が多く、扱いに慣れている。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

学習内容・活動

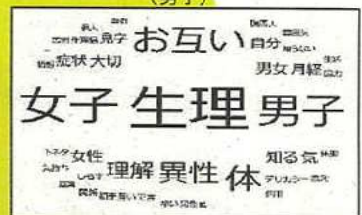
- 第1時**
- ・生殖機能の成熟について理解する。
 - ・「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点について考える。
- 第2～3時**
- ・「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点を発見し、主体的に課題設定する。
 - ・習得した知識を活用し、さらに探求学習を行い、課題解決に必要な知識や考えについてスライドにまとめる。
- 第4時**
- ・スライドを用いて2人1組でペアを替えながら発表を行う。
 - ・思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること、成熟に伴う心身の変化に対応した適切な行動が必要となることについて、理解を深める。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

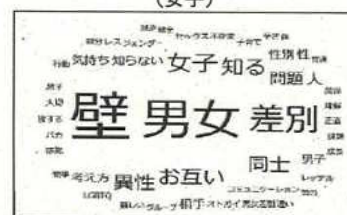
導入

「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点を振り返る。

(男子)



(女子)



スクールタクトのワードクラウドより

- ・第1時で共有した内容を再共有し、男女それぞれの考えを確認する。
- ・「壁」を感じていること、お互いに知らないことが課題と感じていること、お互いに理解する必要があると感じていることについて確認する。



研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

導入

「異性を尊重しあい生活していくため」の課題や問題点について考え、自分の考えを言ったり、書いたりして学級内で共有する。
→尊重し合うためには、お互いの事を理解し合う必要がある。そのために、男女の心身の発達や変化、違いがあることに気づき、学習していく必要感を持たせる。



めあて

- ①思春期における心身の成長についてまとめよう。
- ②思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

展開

・2人1組でペアを替えながらスライド発表

- <発表の方法>
- ①1人目発表(2分)
 - ②質疑応答及び感想(1分)
 - ③2人目発表(2分)
 - ④質疑応答及び感想(1分)
 - ⑤グッジョブカード記入、交換(2分)
 - ⑥ワークシート記入
 - ⑦移動



- ・ペアを決める際にわかりやすくなるよう、テーマ毎にスライドの表紙を色分けする。
- ・ワークシートの全ての項目を埋められるように自身でテーマを選んで聞きに行く。

1. 自分と相手についてお互いに質問し合うことと約束する。

自分について質問したいこと	相手について質問したいこと
自分について答えること	相手について答えること

2. 自分と相手についてお互いに感想を言うことと約束する。

自分について感想を言うこと	相手について感想を言うこと
---------------	---------------

3. 自分と相手についてお互いにグッジョブカードを記入することと約束する。

自分についてグッジョブカードを記入すること	相手についてグッジョブカードを記入すること
-----------------------	-----------------------

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

展開

・2人1組でペアを替えながらスライド発表



【テーマ：男女の体の仕組み】

目的とねらい
男女の体の仕組みを学ぶことで、自分の体の仕組みや、相手の体の仕組みを理解し、健康な生活を送るための基礎知識を身につける。

学習のねらい
1. 男女の体の仕組みを理解する。
2. 健康な生活を送るための基礎知識を身につける。

学習のねらい
1. 男女の体の仕組みを理解する。
2. 健康な生活を送るための基礎知識を身につける。

【テーマ：生理について】

目的とねらい
生理の仕組みや、生理の周期について学ぶことで、自分の体の仕組みや、相手の体の仕組みを理解し、健康な生活を送るための基礎知識を身につける。

学習のねらい
1. 生理の仕組みを理解する。
2. 生理の周期について学ぶ。

学習のねらい
1. 生理の仕組みを理解する。
2. 生理の周期について学ぶ。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

展開

・2人1組でペアを替えながらスライド発表



【テーマ：性意識の変化、性情報への対処】

目的とねらい
性意識の変化や、性情報への対処について学ぶことで、自分の体の仕組みや、相手の体の仕組みを理解し、健康な生活を送るための基礎知識を身につける。

学習のねらい
1. 性意識の変化を理解する。
2. 性情報への対処について学ぶ。

学習のねらい
1. 性意識の変化を理解する。
2. 性情報への対処について学ぶ。

【テーマ：受精・妊娠について】

目的とねらい
受精や、妊娠の仕組みについて学ぶことで、自分の体の仕組みや、相手の体の仕組みを理解し、健康な生活を送るための基礎知識を身につける。

学習のねらい
1. 受精の仕組みを理解する。
2. 妊娠の仕組みについて学ぶ。

学習のねらい
1. 受精の仕組みを理解する。
2. 妊娠の仕組みについて学ぶ。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

まとめ

・習得した知識を確認、整理する。

男女の体の仕組み
1. 男性の体の仕組み
2. 女性の体の仕組み

生理の仕組み
1. 生理の周期
2. 生理の仕組み

性意識の変化
1. 性意識の変化
2. 性情報への対処

受精・妊娠の仕組み
1. 受精の仕組み
2. 妊娠の仕組み

- ・養護教諭が知識の確認、整理、補足を行う。
- ・発表で聞きとれた内容を 確認し、各自ワークシートにまとめる。

研究の概要 生徒の実態 実践 成果と課題

●生徒が書いたワークシート

1. 自分で調べたことや友達と話し合ったことをまとめる。

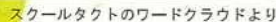
【自分の体の仕組みについて】
男性は、精子を造る。女性は、卵子を造る。精子と卵子がくっついて、受精卵ができる。受精卵は、子宮に着床して、赤ちゃんになる。

【生理の仕組みについて】
女性は、毎月、卵を排出する。卵は、子宮で受精する。受精した卵は、子宮で着床して、赤ちゃんになる。

【性意識の変化について】
性意識は、年齢とともに変化する。性情報には、正しいものと、間違っているものがある。正しい性情報は、健康な生活を送るための基礎知識になる。

【受精・妊娠の仕組みについて】
受精は、精子と卵子がくっつくことで起こる。妊娠は、受精卵が子宮に着床することで起こる。妊娠は、赤ちゃんを産むための過程である。

「異性を尊重しあい生活していくため」にわかったこと、自分ができること



- ・学級内で考えを共有。
- ・「相手を知る」、「お互いの体について理解する」などが出た。
- ・学習したことを振り返り、感想を記入。
- ・感想を言い合い、深い学びにつなげる。



男女それぞれ心身ともに変化の現れる時期だからこそ、無意識のうちに作っている「壁」がなくなるように、異性のことについて調べたところ、生理、受精、付き合うこと、女子の意見を聞くことで理解を深められ、発表では調べたことを伝わりやすいようにまとめることができました。

男女の壁や差別をなくすために、男の体・女の体のしくみ、性情報などについて学んだ。男や女にしかない体の部分や、思考の違いを知れたので、それを活かして今後生活していきたい。また、正しい知識を学んでいき、これからもっと異性と生活を楽しく過ごしていきたい。

この授業では、今まで知らなかった生理のことや妊娠のことについて先生の話や友達との発表、自分で調べたことで色々を知ることができた。今回、性について学んで、異性を尊重することがとても大切だと思った。異性を尊重するためには、相手の性のこと、自分の性のことを正しく理解することが大切だと思った。そうすることで、相手を気遣うことができたりする。この授業で学んだ事をこれからの生活に活かしていきたい。

○良かった点

- ・保健の授業をただやるだけでは、自分のことだと考えながら受けられる子は少ないが、今回の授業のように、自分自身のことと考え生活につなげていくことが保健教育の在り方だと思った。
- ・性に関する話題は、時として緊張感がなくなってしまうこともあるが、生徒たちが自ら興味を持って、自ら調べ、真剣に発表し合う姿がとてもよかった。
- ・スクールタクトの活用では、生徒の直感的なイメージを共有し、授業前と授業後の生徒の変容が具体的にわかる点で効果的な工夫だと思った。

・生徒が調べたテーマのみに知識が定着してしまわないか、どこまで教師が正しい知識として指導していくのが難しさも感じた。

- ・自分身として捉え、主体的に取り組む生徒が多くみられた。
- ・積極的に発表しあうことができ、対話的に深い学びあいができた。
- ・養護教諭として、専門性を活かしたまとめをすることができた。

保健分野の性に関する指導は、生涯にわたって非常に大切な内容であるが、限られた時間の中で正しい知識を習得し、自分事としてその知識をどう活用していくのかを考えさせることの難しさを改めて感じた。特別活動等も絡めるなど、生徒がより主体的に学びを深められるような授業を研究してきたい。

- ・1時間1時間で何を学ばせるのか、何を学んだのか、学習内容を明確にした指導にはならなかった。
- ・探求学習、スライド作成が苦手な生徒がいたり、発表を聞く時間も限られているため、発表の中で得た知識に差が生じやすい。
- ・時間がおおしまい、感想を言い合うところに十分な時間を使うことができなかった。

ご清聴ありがとうございました



所沢市イメージマスコット
トコロん



©Tokorozawa City

令和5年度「性に関する指導」 指導者研修会 高等学校実践発表

埼玉県立和光国際高等学校
養護教諭 斉藤美智子

(1)研究概要

(1)研究の概要

授業内容の検討

- ①授業内容決定の流れ
- ②授業対象の決定
- ③本校生徒の実態に適した授業内容

(1)研究の概要

授業内容の検討

①授業内容決定の流れ

例年、1年生に対し、養護教諭による「性教育」の保健指導を行っていた。

●保健指導を行う中で、恥ずかしさがあり、性教育について消極的な印象であった。もっと工夫した内容で自分毎と捉えてもらう必要がある。

(1)研究の概要

授業内容の検討

②授業対象の決定

- a. 養護教諭による「性教育」は1年生対象である。
- b. 「家族計画と人工妊娠中絶」は2年生の単元である。

保健体育教諭 山田一輝先生にご協力いただき、
チームティーチングでの授業を行うことに決定

(1)研究の概要

授業内容の検討

③本校の実態に適した授業内容

- 性教育のディスカッション
→普段、他教科でも行っているような少人数グループワークを取り入れることにより、性教育について話すことは自然であり恥ずかしさを感じてほしい。
- 恥ずかしさの払拭→事前アンケート実施により、自分毎としてとらえる。
- 性に対するマイナスイメージを払拭するような授業を意識

(2)授業実践

単元名「生涯を通じる健康」A生涯の各段階における健康（イ結婚生活と健康「家族計画と人工妊娠中絶」）

※この単元を2時間確保

(2)授業実践

【1時間目】

家族計画について活発なディスカッションをするために、避妊法や人工妊娠中絶などについての知識を学んでほしいと考えた。

(2)授業実践

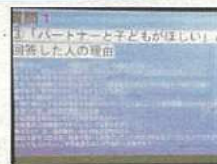
【2時間目】

導入

- ①前時の復習を行った。
- ②本時の課題を提示した。

展開

- ③事前に実施したクラス全員対象のグーグルクラスルームでのアンケート結果(質問1, 2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。
- ④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。
- ⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。
- ⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。



(2)授業実践

導入

展開

まとめ

- ③事前に実施したクラス全員対象のグーグルクラスルームでのアンケート結果を見ながらそれぞれの考えを深めた。

《質問1》

「あなたは将来、パートナーや子どもを持ちたいですか」

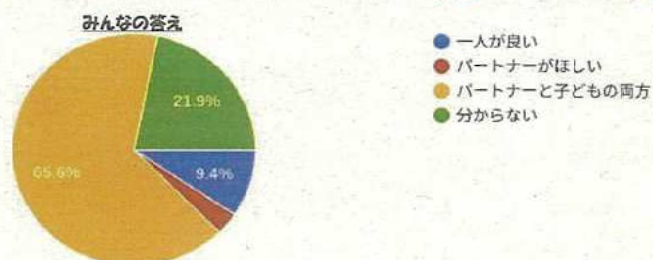
(2)授業実践

導入

展開

まとめ

《質問1》「あなたは将来、パートナーや子どもを持ちたいですか」



(2)授業実践

導入

展開

まとめ

- ③事前に実施したクラス全員対象のグーグルクラスルームでのアンケート結果を見ながらそれぞれの考えを深めた。

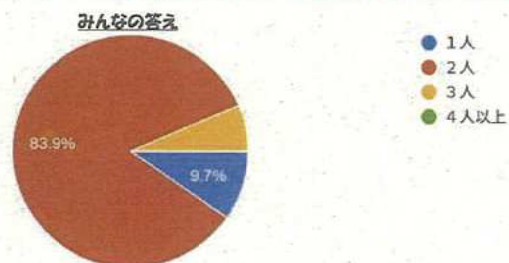
《質問2》

「あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか」

(2)授業実践

導入 展開 まどめ

《質問2》「あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか」



(2)授業実践

導入 展開 まどめ

《インターネットサイト調査結果を見る》

★ほしかった子どもの人数より、実際に授かった人数は少ない人が多かった。

★希望通りの子どもを授かった人数ではない理由

1位:経済的理由 2位:理由はない 3位:体力的問題

4位:仕事・育児支援の問題 5位:家庭環境の問題 6位:年齢の問題

(2)授業実践

導入 展開 まどめ

《子どもが受けられる助成制度一覧》を見る

★児童手当 ★子ども医療費助成制度 ★就学支援制度
★予防接種 ★幼児・保育無償化 ★子育てパスポート
★高等学校等就学支援金制度 ★高校生等奨学給付金
★家計急変への支援 ★高等教育の修学支援新制度
★奨学金 など

(2)授業実践

導入 展開 まどめ

【2時間目】

導入:①前時の復習を行った。

②本時の課題を提示した。

展開:③事前に実施したクラス全員対象のゲーグルクラスルームでのアンケート結果(質問1, 2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。

④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

④「考えてみよう！」

「将来、希望通りの人数の子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか」

- ※グループで話し合う
- ※ワークシートに記入
- ※発表する

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

④「考えてみよう！」

「将来、希望通りの人数の子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか」

【生徒の回答】

- 貯金する ○ストレスを溜めない ○夫婦で話し合う ○支援制度の活用 ○経験者の話を聞く
- 子育ての知識を身につける ○過度の期待をしない ○早めに結婚をする ○健康面に気を遣う
- 手伝ってくれる人を増やす ○逆算して計画する ○子作りの期間を設ける
- 子育てに良い環境へ引っ越す ○ワークライフバランス ○生活習慣に気を付ける

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

【2時間目】

導入：①前時の復習を行った。

②本時の課題を提示した。

展開：③事前に実施したクラス全員対象のゲーグルクラスルームでのアンケート結果(質問1、2)を見ながらそれぞれの考えを深めた。

④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

⑤アンケート結果(質問3)を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

《質問3》

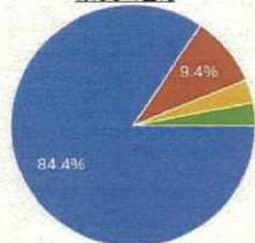
「人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか」

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

《質問3》「人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか」

みんなの答え

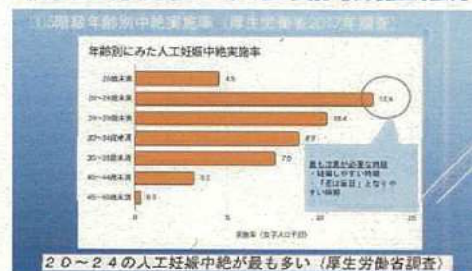


- 20歳未満
- 20歳～24歳
- 25歳～29歳
- 30歳～34歳

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

《厚生労働省の人口動向調査結果を見る》



★アンケート結果では、生徒の8割以上が最も中絶が多いのは20歳未満と予想していたが、実際の調査結果では、20歳～24歳が最も多かった。

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

《厚生労働省の人口動向調査結果を見る》



★5階級別中絶選択率としての調査結果は、中絶を選択した割合が最も多かったのは20歳未満だった。

(2)授業実践

導入 展開 まとめ

「考えてみよう！」

「このグラフからどんなことが考えられますか」

※ワークシートに記入
※発表する

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

「考えてみよう！」「このグラフからどんなことが考えられますか」

【生徒の回答】

○後先考えていない人が20歳未満に多いのかなと思った。45歳～49歳に多いのは、子育てする体力がないからだと思った。

○中絶選択率が少ない年代は、子どもがほしい人が多い年代だから少ないと考えられる。

○20歳未満の人は経済力がないため中絶を選択する人が多い。

○24歳～39歳は計画的に妊娠している。

○20歳未満は産んでも育てる環境や意思が追いつかないし、45歳～49歳は産みたくても体力の問題で母子ともに危険な状態になりやすい。

○30歳くらいだと、予期せぬ妊娠だとしても産もうと思えるかもしれない。

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

【2時間目】

導入：①前時の復習を行った。

②本時の課題を提示した。

展開：③事前に実施したクラス全員対象の 구글 クラスルームでのアンケート結果（質問1、2）を見ながらそれぞれの考えを深めた。

④将来、希望通りに子どもを持つためにできることを考える。

⑤アンケート結果（質問3）を見ながら人工妊娠中絶について考えを深めた。

⑥本時の課題に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

⑥本時の課題「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」に対しての自分の考えをワークシートに記入する。

※それぞれワークシートに記入。

※隣の人に記入した内容を伝える。

※数人に発表してもらう。

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

本時の課題「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」

Aさん（男子）

望まぬ妊娠をしないために先のことまで考えることが大切で、子どもの人数などをパートナーと話し合う際にも先を考えてお金など逆算して考えていこうと思いました。どんな時でも性行為には1つの命に関係する責任が生まれるので相手のことを考え、軽はずみな行動をしてはいけなかったと思いました。

Bさん（男子）

「まだ早いだろう」と言えなくなってきた歳になったと改めて感じました。学ぶことが多くて少しマイナスな気持ちもありますが、その反面任されていると責任を感じるので少し大人になった実感もあります。やっと小・中学校の性教育が何のためにあったかが分かってきました。

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

本時の課題「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」

Cさん（女子）

今後の生き方は自分にしか決められないから、もし選択に迷ったら慎重に決断するべきだと思いました。妊娠とかは大きな決断だと思うけど、お金の面でも子育ての面でも助けてくれる制度が意外とあるので、使いこなすためにも産む前にどういうのがあるか調べたいです。後悔しない生き方がしたいです。

Dさん（女子）

不妊についてあまり知らず、本当に少しの確率で子を授けられない人がいると思っていたのですが、意外にも不妊で悩んでいる人は多くいると知りました。早いうちから自分の体について病院等で調べるべきなのだということを学びました。

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

本時の課題「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」

Eさん（男子）

将来、自分は子どもが何人ほしいのか、何歳くらいで結婚するのかなどしっかりと人生の計画を立てていく必要があると感じた。また、望まない妊娠を避けるために、「子どもを持ちたい」「育てたい」という思いや覚悟がない場合は、避妊をしっかりとすべきだと感じた。

Fさん（男子）

家族を持つということは多くの人が子どもの頃から願望として、当たり前のように話す人もいるが、実際は経済的、身体的など多くの壁がある事を知った。子どもを持つのなら望まれた形で産まれてきてほしいと思う。親となるのは大変だが、その形が「望まれたのか」や「経済的な余裕があるのか」など親のエゴで子どもに苦勞をかけたくないと思いました。

(2)授業実践

導入

展開

まとめ

【教師の思いを伝える】

★教科担任より

ライフプランによって自分の価値観は変わっていくもの。しかし、自分を大切にすることは常に忘れないでほしい。子どもを作るということは責任が生じるが、同時にかけがえのない幸せも生まれる。良い人生を歩んでほしい。

★養護教諭より

充実したライフプランにするためには、家族計画が必要であることは分かってくれたと思います。しかし、人間はロボットではないので計画通りに行かないことも多々あります。そんな時も、前向きに考えて与えられた環境の中でまた新しいライフプランを立て直し、幸せを見つけて行ってほしいと思います。身体のこと、性のことの悩みは人それぞれだと思います。心配なことがあったら恥ずかしがらず、保健室や信頼できる大人に相談して自分のかけがえのない人生を大切にしていってください。

(3)授業参加者からの感想

(3)授業参加者からの感想

[良い点]

G先生

養護教諭との連携を上手くとることで、生徒への効果的な指導が行えることを知れた。また、グループワークを有効に活用することで、価値観がそれぞれ違うことに気づききっかけとなることを知った。

H先生

授業で使用したワークシートを見て、「小・中で学んだことが繋がった」「責任感を感じて大人に近づいている気がする」等の生徒の感想を読んで、小さい頃から系統的に学ぶことの大切さを再認識しました。

I先生

性教育は恥ずかしいことだとは思いますが、事前アンケートやグループワークなど工夫することによって関心を持たせているのが良かったと思います。2時間分の授業を行っていたことも含め、一人一人が自分事として捉えられていた。男女混ざって性について話し合っていた。また、性教育についてマイナスなイメージ、抑え込む授業ではなく、ポジティブに捉えられるような授業展開の大切さを知りました。

(3)授業参加者からの感想

[改善すべき点]

J先生

生徒の雰囲気良すぎてスムーズな授業であった。話す、話さないの切り替えが大事だと思った。生徒観の差が大き過ぎるため、自分の学校では使えないかもしれない。

K先生

「責任」という言葉が多く使われていて心に残っています。生徒たちが真剣に発言しているのを見て授業の成功を感じました。また、「国際社会で必要とされるグローバルリーダー」を見つけることが出来ませんでした。「海外ではこんな制度があるんだよ」など、和国ならではの授業を期待していました。

(4)成果・課題・感想

(4)成果・課題・感想

成果	課題
○事前にアンケートを実施することで、友達 の考えを知ることが出来、恥ずかしさを和 らげることが出来た。	○性に関するマイナスなイメージを払拭し たかったが、どうしても性のリスクも伝えな ければならないため難しい。
○人工妊娠中絶、避妊法、不妊治療の知識 を身につけた上、グループワークをすることで、 家族計画の思考を深めることが出来た。	○授業参加者からのご意見にもあったように、 国際高校の特徴を生かしたグローバルな内容 を取り入れることが出来なかった。
○保健学習に養護教諭がT、Tに入ること、 専門的な知識に加え、保健室の事例を話すこ とで、より身近な学習に感じられた。	○保健体育教諭と養護教諭のT、Tを実施す るにあたり、話し合いする時間が少なかった。

(4)成果・課題・感想

感 想

今まで実施していた年に1回の養護教諭による保健指導は、1時間の中で多くの知識を身に着けてほしいという思いから、詰込み式で怖いイメージの保健指導になっていたことに改めて気づかされました。

今回授業研究をさせていただいたことにより、生徒が自ら考えて、それぞれの答えを見出していくことの大切さや、フラスのイメージの性教育の大切さが分かりました。

学習指導要領に準じての授業を行うことに不慣れで、戸惑うことも多々ありましたが、多くの方によるご協力のもと性教育の内容を深めることができました。ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

埼玉県立和光国際高等学校
養護教諭 斉藤美智子